

アルプス花街道通信

第1号（H27.7月）

定植後の苗の管理について

一斉定植から1ヵ月が過ぎ、マリーゴールドにつぼみが出てきました。
美しい花を咲かせるためにマリーゴールドのつぼみの摘心をお願いします。
摘心とは、横への広がりのある花にするために最初の花芽を摘むことです。
先端とその下のわき芽を思い切って切ります。（写真点線部分より上を切ります。）
マリーゴールドは強い生命力を持った花なので、次の芽をどんどん出してくれます。
また、花芽を切ることによって背が低くなり、耐風性が増します。摘心後は次の花が咲くまでに3～4週間ほどかかります。7月中旬までには実施しましょう！



摘心前



摘心後（○印部分）

苗の植えなおしについて

一部の区画では、枯れている株が見られます。それぞれの区画をご確認いただき、生育が思わしくない株の植え直しをお願いします。（枯れてしまう原因：水不足、害虫によるもの、元肥を多く使用したことによる肥料焼け等）

苗は植え直し用に余分に配布しておりますので、保管してある苗をご使用ください。

定植後の花の様子について

今年度も、定植後に雨が降ったこともあり花の生育は順調です。

マリーゴールドの育成マニュアルを参考に引き続きの管理をお願いいたします。



安曇野IC北区画の様子

今年度のネキリムシの被害について

ネキリムシとはカブラヤガ、タマナヤガなど茎を食害する蛾の幼虫の総称です。一見すると根を切られたように見えるためネキリムシと呼ばれています。夜行性で、昼間は土中に隠れ夜間に茎を食害します。

平成 26 年度に安曇野 IC 北区画の土留め工事を行った影響もあり、今年度のネキリムシの被害は少なめです。しかし、食害にあっている区画も少し見られますので、一度区画の様子を見に行き行ってあげてください。

ネキリムシの被害を防ぐためには、オルトラン（殺虫剤）を水で 1000 倍に希釈し、マリーゴールドが植えてある土に撒いてください。

※昨年、ネキリムシの被害が発生した区画にはオルトランを事前配布させていただきました。それ以外の区画でネキリムシが発生した場合には事務局にご相談ください。



ネキリムシの被害にあった苗

活動報告書提出のお願い

アルプス花街道事業は、安曇野市からの委託事業です。活動の実績について、市と県に報告することになっておりますので、実行委員会時に配布した様式に記入していただき、月ごとの活動の報告をお願いします。

【アルプス花街道実行委員会事務局】

事務局長：若松 榮

事務局補佐

事務局次長：米倉 秀政

安曇野市役所豊科地域課

担当：吉野

電話：72-3111（直通） FAX：72-8340